

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1941】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目03 道路ストック対策事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	土木課
	項	02	道路橋りょう費		
	目	02	道路維持費	連絡先	0594-24-1212
	細目	002	道路施設維持補修費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
道路施設	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	● ある ○ ない
道路施設の老朽化に備え社会資本の計画的かつ戦略的な維持管理を図るために実施した道路ストックの総点検の結果により、老朽化した土木施設について補修を行い、円滑な通行と安全確保を行う。 ・ 太一丸江場線：352m ・ 坂井多度線：607m	理由 適正な点検・診断を行うために、専門的な技術を有する民間委託が必要である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
道路施設を健全な状態に保ち、市民の安全・安心を確保することに努める。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	路面性状調査計画延長	km	238.9	238.9	-	-	
	整備計画延長	m	-	2,700	2,860	4,602	
活動指標	路面性状調査延長	km	63.4	175.5	-	-	
	整備延長	m	-	510	959	778	
成果指標	調査進捗率	%	目標値 26.0 実績値 26.5	100.0 100.0	-	-	
	整備進捗率	%	目標値 - 実績値 -	20.7 18.9	38.1 51.4	48.8	
投入コスト	事業費計			10,879	56,499	28,607	48,800
	財源内訳	国支出金	千円	5,775	30,168	15,425	26,015
		県支出金					0
		地方債			12,300	12,000	20,200
		その他					0
		一般財源		5,104	14,031	1,182	2,585
	所要人員 (正職員)	人工	0.20	2.00	0.51		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	1,395	14,158	3,487			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

社会資本整備総合交付金の配分に合わせ、柔軟に予定を修正し効果を上げる必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1936】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 狭あい道路整備等促進事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	建築開発課
	項	01	土木管理費		
	目	01	土木総務費	連絡先	0594-24-1209
	細目	004	狭あい道路整備等促進事業費		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
関係権利者 (後退用地等に係る土地及び後退支障物件の所有者)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
桑名市狭あい道路整備等促進事業に関する要綱に基づく事業。桑名市が所有し、管理する幅員が4m未満の道路で建築基準法第42条第2項、道路法第3条第4号、その他市長が必要と認めた道路を対象に寄付行為を行う場合の測量分筆登記・除却工事・報償金等の助成を行う。	国補助事業であり、会計検査等も受ける必要があることから、市が事業を行うことが必須である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
狭あい道路は緊急時の避難・救助活動が遅れる原因となることがあるため、敷地の一部を道路として広げ、防災性に優れた安全な市街地の形成を図る。	

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	申請件数	件	5	16	7	8	
	相談件数	件	42	35	36	40	
成果指標	事業完了率	%	100.0	100.0	100.0	100	
		実績値	80.0	100.0	100		
投入コスト	事業費計			2,416	4,560	3,949	5,423
	財源内訳	国支出金	千円	1,057	1,809	1,700	2,500
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源	1,359	2,751	2,249	2,923	
		所要人員 (正職員)	人工	1.60	1.55	1.17	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	11,157	10,973	7,999		

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

・事業の窓口は、建築開発課（道路整備係）にて行っているところであるが、開発指導係との兼務であり、効率的な事業を行うためには、人材面の確保はもとより、各課の協力体制も必要と考える。
 ・建築スケジュールと申請時期が合致しないため、申請を行わないケースが多く、今後は路線単位で市が積極的に整備していくことも視野に入れる必要がある。
 ・予算上、早期に受付を終了することとなり市民要望に答えられていない。